

そよかぜだより

第102号
発行 2010.11.21
毎月1回発行
社会福祉法人
そよかぜ

連絡先

ひばり園 578-0855
FAX 578-0466
くれよん 578-2575
つくしの家 578-0855
エール 570-1233
スマイル工房 578-2723

資源回収時のご連絡は
「ひばり園」へ

自立支援法改正法案、今国会で成立の見通し

一割負担は廃止、応能負担へ

グループホーム利用者への助成も

障害者自立支援法改正法案が今国会で成立する見通しとなりました(11月18日現在)。

民主、自民、公明の3党が1

7日の衆院厚生労働委員会で委員長提案として会期内に処理することで合意しました。

民主党政権は2013年8月までに同法に代わる障害者総合福祉法(仮称)の制定を目指しており、それまでのつなぎとするものです。

改正案の骨子は

一、障害者が福祉サービスを利用した時の負担を、現行の原則一割から支払い能力に応じた割合に変える応能負担とする。

二、発達障害者も自立支援サービスを受けられることを明確に位置づける。

三、グループホームやケアホームを利用する個人に対する助成を設ける。

障害児が通常学級に通う改革案は

教育界から懸念の意見が続出

四、「放課後デイサービス」を創設することなど障害児支援策を強化する、などです。
この案に対して障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会など9団体が早期成立を求める声明を発表しました。

この動向を簡単にまとめる
と、福祉の立場から理念に忠実な改革を目指す推進会議に対して、教育界が難色を示したこととなります。まさか福祉対教育の対決にはならないとは思いますが、はたして決着はどうなるでしょうか。

障害者権利条約に基づくインクルーシブ教育を目指して、

内閣府の障がい者制度改革推進会議は「障害の有無にかかわらず地域の小中学校に就学し通常学級に在籍することを

原則とし、本人・保護者が望む場合は特別支援学校に在籍

することもできる制度」に改める方針を出しています。

この方針に対して、特別支援教育の在り方を検討している中央教育審議会の特別委員

会では「インクルーシブ教育の理念と方向性は基本的に賛成」としながらも、「小中学校は障害のある子を受け入れる環境整備ができていない」として「総合的判断で就学先を決める仕組み」の方が適当だとする中間まとめの委員長

試案を示しました。「形式的に場を一緒にすると、特別な教育を必要とする子が通常学級で学ぶ危険性がある」としています。

ご協力ありがとうございました。

10月の募金 38,206円

(順不同) 平成22年4月～10月の合計 272,111円

白井 道代 様	志賀 一男 様	市川 幸子 様
帯刀 幸子 様	古沢 奈保美 様	橋本 亜紀子 様
清水 賢 様	北野 浩美 様	渡辺 時三 様
清水 知子 様	井上 誠一 様	川崎 利男 様
山影 幸子 様	大野 元雄 様	天満 喜代子 様
山下 暉枝 様	森田 勝 様	本間 正彦 様
濱野 岬 様	袴田 実 様	村野 理子 様
山崎 六雄 様	下田 コウ 様	平岡 知子 様
竹内 照夫 様	清水 キヨ子 様	長谷川 キヌ子 様
松岡 竹子 様	尾又 恭子 様	角野 克子 様
角野 満壽子 様	渡辺 四郎 様	桜沢 喜作 様
小沢 達子 様	阿部 郁子 様	増田 一仁 様
斉藤 忠 様	関村 理 様	宇津木 忠雄 様
田中 稔 様	関村 英希 様	平野 喜子 様
田村 由親子 様	土屋 三枝子 様	田中 明子 様
田村 千佳 様	吉野 満里子 様	永岡 智恵子 様
アバンバンデックス 様	ア-サロンカワノ 様	㈱八洋 様

匿名様(3,408円)

ご連絡は、ひばり園へ
羽村市栄町3-3-1
042-578-0855

くれよん10月の売上げ
892,580円でした。

羽村市内の小中学校と中学校の生徒のみなさんが、各学校単位でプルトップ収集にご協力して下さいます。ありがとうございます。

社会福祉法人 そよかぜの

《資源回収》に

ご協力をお願いします
新聞、雑誌、ダンボール
(ボロは扱っていません)

10月は23,990tでした。金額は407,334円となりました。
この収益は、社会福祉法人そよかぜの運営資金になります。
みなさまのご協力ありがとうございました。

12月は第3日曜日19日です。

よい部分を引き出し、育てることの難しさ

「支援」で試されるのは忍耐力

自分に都合の良いことはすぐ覚えます

前回のそよかぜ日より、知的障害の人は「うそ」や「ずるさ」も備えていますと紹介したところ、その例をもっとたくさん教えてほしいというご意見をいただきました。そのほうが具体的に分かって参考になるということです。たしかにそうだろうと思います。が、じつは悪い例を具体的に書くということが昨今の時勢ではまことに難しくなっています。実名を伏せても内部の人には誰のことかすぐわかります。もしそれが外に漏れると、個人情報の保護がきびしくいわれる時代ですから、プライバシーの侵害になる恐れがあるからです。今から思えば昔はよくまあ、あんなことを実名入りで平気で書いていたものだと思うことがありません。そんなわけでまた一般論になります。

悪いといわれていることが本当に悪いことなのかどうかは、よく考えてみる必要があります。二十年前ほど前のことです。栃木県足利市のころみ学園の川田昇園長に羽村で講演をしてもらいました。先生の話の中に次のようなくだりがありました。

「私は栃木県佐野の生まれです。村で一番の貧乏百姓でした。子供の時から畑で働く両親の手伝いをしました。勉強は大嫌いで成績はいつもビリでした。いたずらばかりして先生から毎日のようにゲンコツをもらっていました。その先生が転校することになり、お別れの日に先生は教室の端から生徒の頭をなでていきました。私も今日だけはゲンコツではなく、なでてもらえると思っていたら、先生の手は前の生徒の頭から私の上を通り越して後ろの生徒にいきました。その日、頭をなでて

らえなかったのは私ひとりでした。

家庭訪問がありました。この家でも先生はよいことばかりいつているので、私のことは何というだろうと思つて襖（ふすま）の裏で聞いていたら『おたくの子は、いたずらばかりで、いつもだらーと演をたらし、服はテカテカで……』と、よいことは何もいみませんでした。先生が帰つても襖から出られなくてじーとしていたら母が『昇、出ておいで、聞いていたんだろう、お母さんは平気だよ』といいました。

次の日の朝、母は新聞紙を細かく切つてポケットに入れてくれ「よく鼻をかむんだよ」といいました。母の気持ちに分かったのでじーと顔を見ていたら母は私を強く抱きしめました。息が止まるほど。そして『だいじょうぶ、大丈夫、仕事ができれば、おまんまは食べられる、昇はいい子だよ』といいました。

今から思うと母は教育者ではないけれど、本当の教育とはこんなものではないかと思ふんです。どんな悪い子供で

も必ずどこかによいものを持つている、それを引き出してやるのが、うんと大切だと思ふんです」このような母に育てられて川田先生はその後、障害者教育の先覚者と称される人になりました。

もう一つエピソードを紹介します。利用者の男性と資源回収にいきました。彼は知的には重度ですが、立派な身体で体力をもてあましているような人ですから、重い荷物を運ぶ仕事はもつてこいだと思ひました。回収拠点になってくれている家に行くと、奥の物置に新聞など古紙の束がたぐさん積み重ねてあります。道路に止めた車から物置までは五メートルくらいの距離です。彼に束を一つづつ持つて車まで運ぶように指示をして、私は車の後ろにいて彼が持つてきた束を受け取り中に積み込むことにしました。十回くらい往復すれば終わるだろうと思つていました。

彼は一回目はスムーズに運びましたが、二回目はゆっくりになったので、私は二、三歩あゆみ寄つて荷物を受け取りました。三回目は五、六歩

になります。さらに彼の動作は緩慢になり、とうとう最後は彼は物置のそばから一歩も動かさず全距離を私が運ぶことになりました。

仕事が終わつてから私は考えました。何もしないで物置のそばに立っていないさいと、けつして私が教えたわけではありません。彼は自分なりに、自分が運ばなければ私が運んでくれることを、わずか一回か二回の経験で覚えてしまつたのです。

知的障害の人に作業を教える際は、作業手順をできるだけ単純にしたらうえで繰り返し何回も教えます。普通の人なら一日でマスターするような簡単な作業でも一ヶ月、二ヶ月とかかることがあります。そのかわり覚えてくれると飽きずにいつまでも続けてくれるのがこの人たちの良いところです。この辛抱強さを武器にして一般企業で働いている知的障害者はたくさんいます。

したがって作業を教えるときは、同じことを何回でも教え、初めうまうまいかなくても怒らず気長に見ることが鉄則とされています。それにして

も先の彼が、自分が運ばなくてもよい方法を一回の経験だけで悟つたのはなぜでしょうか。「自分に都合のよいことはすぐ覚えるのか」と思うと少しばかり腹が立ちます。後できつく注意してやろうと一時は思いましたが、落ち着いて考えてみると「悪いことは教えなくてもすぐ覚えるくせに、しなければならぬこと」は何回いつても分らない」というのは、子供をしつける親や先生達に昔から今まで飽きるほど言われてきた嘆きです。私もそういつて親に叱られたことを覚えています。

だからこれは障害のあるなしにかかわらず人間に共通の欠点です。都合よくできているのが人間です。もし神様が人間を作つたとしたら、この部分は神様のミスか計算が間違つたのでしょうか。そう思えば腹も立ちません。

悪いところには目をつぶり、よいところを見つけ出して伸ばす、期待通り覚えてくれなくても焦らず怒らず、じつと耐えて見守るといふ、まさに平凡極まりない結論に到達した次第です。